３年　　数学科　休業中の課題（５月１８日～）アドバイス

取り組み時間（目安）
４時間

①学習の目標

「多項式を因数分解して、もとの乗法の式に戻せる。」

②準備するもの

教科書、数学の学習ノートｐ１２～ｐ２１

③学習の方法・手順

１．ワークの POINT（ｐ１２、１４、１６、１８）の部分を読んで一度自分の力で取り組む。
２．わからなければ、教科書や下の「ポイント・取り組み方の例」を参考にして解いてみる。

④学習のポイント・取り組み方の例

P12,13：一番小さい素数（２、３・・・）で順番にわっていくとスムーズに分解できる。

P14 1：○をつけるなどして項をはっきりさせてから、数、文字で共通するもの（共通因数）はないかをチェックすると、もれがなく因数分解できる。

P14 2：項が２つで、それぞれが２乗の形になっているときは、（○＋□）（○－□）の形に（乗法公式③の逆を利用して）因数分解する。

P14 3、4：項が３つで、数の項が２乗の形になっているときは、（○±□）の２乗の形に（乗法公式②の逆を利用して）因数分解する。ただし、必ずしも（○±□）の２乗の形のならない場合もあるので、因数分解完了後に計算してもとの式になるかをチェックする。

P16,17：項が３つで、数の項が２乗の形になっていないときは、「足して真ん中（の係数）」「かけて後ろ（の数）」になるような二組の数字を探して（○＋△）（○＋□）の形に（乗法公式①の逆を利用して）因数分解する。

P18,19 1、2：①項をチェックする。②共通因数がないかチェックする。③乗法公式を利用して因数分解する。①→②→③の流れを常に意識しながら因数分解する。

P18,19 3、4：カッコ全体を一つの文字とみてアルファベットに置き換えて、その状態で因数分解を行う。因数分解が完了したら、置き換えたカッコをもとに戻し、同類項があれば整理してまとめる

⑤自己評価の仕方

１．乗法公式をイメージしながらその逆の計算（因数分解）ができたかを振り返る。
２．解答を見て自己採点する。
３．間違えた問題は赤ペンで解き方まで記入して訂正する。